

金沢町にあるカフェギャラリー“ばおばぶ”はレトロな隠れ家のように、暖かみのあるリラックスできる雰囲気があります。“ばおばぶ”でくつろぎにおでかけください。

伝統的な日本舞踊の中でも動きの少ない静かな舞いとして知られている上方舞ゆっくりとした動きの中に、どこからともかく立ち現われる力強さは、見る者をひきつけてやみません。

吉村桂充さんは 現代上方舞を代表する名手の一人。その芸は深く、強く、時に軽く、時に艶やかで、何度見ても飽きないのですが、そうした芸の力が、上方舞の厳しい修行の結果だというだけでなく、貪欲なまでに吸収され続けている多彩な知識技術に裏打ちされたものだということには興味を覚えます。

上方舞と舞踏としての関連の深い能の舞い手であるのを初め、和歌の作り手でもある。『梁塵秘抄』『閑吟集』のような日本中世歌謡にも関心を持つ一方で最近では連句の世界にも入り込んでいる。

古武術の修行、滝行、はてはヨガの修行まで、一体どれ程のものを身につけ、芸の肥やしにして来たのか 想像もつかない位です。そしてもっと大切なのは彼女の多様な関心の先に、何か一つの核のようなものが 見えていて、それが上方の舞の表現と密接につながっているらしいということです。

今年もインドに長期滞在してヨガの勉強をしてきた桂充さん。

今回はヨガの話を中心に興味深い話が 聞けることでしょう。

桂充さんの「わたしのはなし」の後は、参加者の皆さんに感じたことを話していただきます、言わばみんなの「わたしのはなし」でもあります。

誰かの話が聞いてみたい人も、自分の話を聞いてほしい人も楽しめる軽やかなコミュニケーションの場。それがこの『わたしのはなし』です。

どうぞ奮ってご参加下さい。

#### 吉村 桂充(けいいん)

上方舞舞踊家

吉村輝章師(現六世家元)に師事

故五世家元吉村雄輝夫師に師事

地唄、義太夫などのさまざまな邦楽や

能楽(謡、仕舞、能囃子、狂言小舞)など

他の伝統芸能も広く学ぶ

現在「吉村桂充上方舞研究所」主宰

「上方舞友の会」代表

座敷舞としての上方舞本来の風情を大切に守りつ

つ舞台公演、後進の育成、普及活動にも力を注ぐ

(社)日本舞踊協会主催「各流派合同新春舞踊大会」

にて 大会賞(芸団協奨励賞付き)三回、奨励賞一回受賞 会長賞受賞

舞踊プロモーション主催「翔ぶの会」にて奨励賞優秀賞受賞

平成十四年度文化庁派遣在外研修員として

南インド・ケーララ州に伝わる世界無形遺産

サンスクリット古典演劇「クーリヤッタム」を学ぶ

地唄「融」の演技で

平成十八年度文化庁芸術祭新人賞受賞

金沢町にあるカフェギャラリー“ばおばぶ”はレトロな隠れ家のように、暖かみのあるリラックスできる雰囲気があります。“ばおばぶ”でくつろぎにおでかけください。

ばおばぶ企画「わたしのはなし」—第2幕—

話す人 吉村桂充(けいいん)さん

タイトル 『ヨガ 魂の哲学にふれる』

日時 2011年5月1日 日曜日 午後3時

参加費 1500円

吉村桂充「舞の会」

日時 2011年6月5日 日曜日、午後6時

演目 舞 地唄「名護屋帯」

唄・三味線 杉浦聡

参加費 3000円

恋しい人に逢いたくとも逢えない寂しさから身も細り、

いままで二重に巻いていた名護屋帯が

三重に回るほどにやつれてしまったという恋心を描いています。

会場：カフェギャラリー“ばおばぶ” 金沢文庫駅より称名寺方向に徒歩5分

住所：神奈川県横浜市金沢区金沢町66

Tel：045-701-7516 メール：[baobab@seapple.icc.ne.jp](mailto:baobab@seapple.icc.ne.jp)

<http://www.cafegallerybaobab.com/>